

(様式2(1))

事業所名 グループホーム さくら新宮

作成日: 令和3年 2 月 3 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(1)	事業所の考え方、事業所の目指す理念が、職員に浸透・統一されていない。	事業所の目指すもの、理念について分かりやすく具体的に掲げ、職員が統一の意識をもってケアに当たれるようになる。	・理念の意味や具体例について文書で交付。 ・職員からの意見や考えについて回収。 ・理念・方針等を決定後、事業所内で共有できるよう掲示する。	12ヶ月
2	33(16)	看取り介護についての意識が薄く、重度化についての具体的指針などが無い。	看取り介護とはどのようなことか、重度化した場合にはどのように取り組むのかを、職員が理解する。	・フロア会議での看取り介護についての勉強会の実施。 (年間を通して勉強会を実施することで意識が持てる)	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。